

※1スタジオツアー東京・ウーナー・プラザスタジオツアー東京・メイキング・オブ・ハリー・ポッター

◆区長の基本的な認識について

問 ①日本経済の現状の捉え方は。②速やかに補正予算を編成し、急激なエネルギー高・物価高に不安感を募らせる区民生活の防衛を。

区長 ①円安進行による物価上昇懸念。国と地方を合わせた債務残高はGDPの2倍を超え世界に類を見ない状況。危惧の念。②真に困窮する区民の支援として補正予算提案。

◆地域の振興策について

問 スタジオツアー東京の開

設を機に地域振興に結びつくアイデアを結集し、税収増へ結びつく努力をする時では。

産業経済 区内周遊を促進し、地域経済の活性化等につながる取組について検討を進める。

◆給食の黙食について

問 ①小中学生のコロナメンタルクライシスの兆候への教育現場の現状把握と対処法は。

◆区長の基本姿勢について

問 ①予算編成の基本的な考えは。②区事業で都バートナーシップ宣誓証明書の活用を。③スタジオツアー東京施設の教育プログラムに区内の子どもの参加を。④がん患者アピアランスケア支援を。⑤带状疱疹ワクチン接種助成を。

区長 ①区民生活の安定を守るため、緊急的な支援に取り組む。②総務 ③都事業に類似する事業での活用を検討。

地域文化 ③参加できるよう

取り組む。健康 ④今後設置する連絡会で支援策を検討。⑤国で検討中。動向を注視。

◆温暖化対策について

問 ①新環境基本計画の削減目標を国と同等の水準に。②学校等の太陽光発電と蓄電池の整備を加速させ、PPAの検討もすべき。③公共施設のZEB化とEMSの導入を。

※2アピアランスケア…治療に伴う外見の変化に対し「医療的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化を補完し、苦痛を軽減するケア」を行うこと。※3PPA:「Power Purchase Agreement」の略。発電事業者が施設所有者から建物屋上等を借り、太陽光発電設備等を設置して、発電した電力を施設所有者等に販売する事業形態。

②食事と会話は子ども達のと体をつくる土台。感染しにくい形・食べ方を考える努力で突破口も見いだせるのでは。

教育長 ①コロナ禍で教育活動の制限が影響。面談等きめ細かく対応。体験活動等を取り入れ主体的に取り組む教育活動を充実。②様々な活動等

こんな時代だからこそ
着実な一歩で街づくり

練馬区議会自由民主党 小泉 純二

によりコミュニケーションを充実。感染状況や国等の動向を注視し、引き続き、心の安定と健全な育成に取り組む。

◆高齢者向け臨時医療支援施設について

問 現場が安心して業務に取り組めるよう支援体制等の在り方について都に働きかけを。保健所 状況に応じて臨時医

副区長 ①審議会等の意見参考に国の目標を踏まえ定める。

環境 ②学校は優先的に取り組む。PPAは研究。③原則、ZEB化の目安30～50%の省エネを目指す。EMS検討。

◆母子健康手帳について

問 ①電子母子手帳アプリねりますくすくアプリの充実を。

子どもの幸せを最優先する
社会をめざして！

練馬区議会公明党 酒井 妙子

②区もリトルベビーハンドブックの作成を。③視覚障がい者用母子手帳の情報更新を。

◆AEDの設置について

健康 ①国の母子手帳見直しの動向を注視。②都がNICU退院支援手帳を作成。③情報冊子を音声ガイド付きで作成。寄り添った対応に取り組む。

支援を充実すべきでは。

副区長 ①地域団体と連携し、来年1月の障害者ICT相談窓口の開設に向け準備中。②心身障害者福祉センターで訓練を実施。当事者団体等の意見をもとに支援の充実を検討。

◆行動経済学の知見の活用について

問 ナッジ理論の利点は低コストで健診受診率を上げられること。導入の評価、検討は。

区民 理論を活用し、効果的な通知の文面等を検討する。

◆サイバーセキュリティについて

問 区民生活に関わるシステムの安全安心にはセキュリティ更新が欠かせないのでは。

企画 DX推進方針を策定し、より高度な対策を講じていく。

一般質問（要旨）

◆区民協働について

問 ①区民協働への考えは。②発信力強化を。③町会・自治会の互助の仕組みを絶やさないため新たな支援策を。

◆練馬休日急患診療所と練馬つつじ歯科診療所について

問 ①コロナ禍でも安心して利用できるサービスの向上を。②そしやく等のトラブルに、

◆デジタル戦略について

問 フリーアドレスの効果や導入に向けた課題は。

◆区政改革 執務スペースの有効活用等。環境の整備と紙前提の業務からの脱却等が課題。

◆電話による詐欺について

問 各種団体等に区として詐欺撲滅活動の協力依頼を。

◆AEDについて

問 ①区内の設置総数と利用実績は。②使用方法の周知を。

◆区長の基本姿勢について

問 ①物価高騰等から区民や事業者を守るための予算編成を。②受益者負担について使用料の見直し等区民に理解を得られるよう努力を。

区長 ①生活を支える上で必要な施策は時機を逸することなく確実に実行。区政改革

◆フレコンセプションケアについて

問 ①安心安全な妊娠・出産等の健康管理のため、積極的に発信と取組を。②ホームベージュに妊娠前に確認したい項目のチェックシート掲載を。③女性特有の健康課題についての大学生との連携の現状は。④AMH検査費用の助成を。

◆危機管理 練馬区安全・安心協議会を通じ詐欺対策の取組を共有等。自動通話録音機貸与事業で協力等。

健康 ①公共施設35か所、病院等に54か所。3年12月発表の国内利用実績は約1100人。②今後も地域団体等に情報提供。③区内2か所設置。

◆省エネルギーとCO₂削減について

問 庁舎や小中学校の温室効

特殊詐欺対策強化等で
安全安心な区民生活を

練馬区議会自由民主党 西山 きよたか

練馬つつじ歯科診療所活用を。果ガス削減の取組状況と削減実績は。

地域医療 ①医師会と協議し、事前予約制を10月から導入。

②歯科医師会と連携し、摂食・えん下機能支援センターで訪問検査を行い、必要な方を医療機関につないでいる。

◆AEDについて

問 ①区内の設置総数と利用実績は。②使用方法の周知を。

健康 ①毎年3月、女性の健康週間に合わせ、情報を発信。

②必要な行動が分かるノート配布・掲載等。③日本女子大学の学生と連携し、食事の重要性の周知を検討。④保険適用。独自助成の考えはない。

◆経済産業について

問 ①特別貸付や借換特別貸

コロナ禍を乗り越え
未来への政策の実現へ

練馬区議会未来会議・都民ファーストの会・国民民主党 松田 巨

付を必要とする事業者への今後の支援は。②商店会が継続的に活性化するように支援を。

◆児童虐待について

副区長 ①事業所を対象に実態調査中。年度内に結果をまとめ振興策を検討。②新たな顧客獲得につながる取組を意欲的に実施する商店会へ支援。

◆防災まちづくりについて

問 ①現在の四商通り、西武池袋線線路沿いの道路整備の進捗状況は。②鉄筋コンクリート造等の建物の所有者との協議状況は。③富士見台三・四丁目地区計画の進捗状況は。④北側区間約7割、南側区間約3割の用地取得。随時、暫定的に道路を整備。②8棟あるうち2棟が除却、1棟が除却予定。5棟は協議中。③来年度都市計画決定を予定。

◆児童虐待について

問 ①都内の虐待件数は依然高い水準である。区への通告や対応件数の推移、虐待のリスク評価をしていない事例の状況は。②ヤングケアラーはボランティアや事業者等地域社会全体で取り組む課題。区

対策の同時実現を。②小中学校の総LED化と蓄電池の導入、商店街店舗等のLED化推進の補助制度の創設を。

環境 ①現時点では難しい。②引き続き、整備。都の補助制度に区独自の乗せを実施。

◆石神井公園駅周辺のまちづくりについて

問 ①石神井庁舎機能を再開発施設に移転する狙いは。②補助232号線の富士街道までの区間の道路整備の状況は。

◆交通安全について

技監 ①駅前利便性を生かしさらなるサービスの向上が可能。②説明会を開催。今後関係権利者等と協議を進める。

◆自転車の交通違反取締り強化について

問 安全利用の周知と事故や交通違反の減少への取組は。

土木 中学校で実施の安全教室を高校等に拡大。罰則等を周知。保険等への加入を促進

◆国民保護計画について

問 ①平成19年に区の計画が制定・運用されているが、国や都道府県等の取組は。②サイバーテロへの備えは。③区民の命と健康・財産を守るため関係機関と連携した訓練を実施すべき。

◆危機管理

①都は国の求めで9月までに362か所の区立施設を緊急一時避難施設に指定。②警察等と連携し、事故発生時の対応訓練を実施等。③国主導で地域ごとに順次実施予定。都内で実施の際は、参加に向けて取り組む。

※6 DX……[Digital Transformation]の略。デジタル技術の浸透が人々の生活をあらゆる面でよりよい方向に変化させること。

◆災害対策について

問 ①臨時災害放送局の周波数とラジオ備蓄の必要性の周知を。②ペット同行避難訓練の拡充を。③医療従事者へのラインワークスの操作訓練を。

◆健康寿命の延伸策について
問 ①取組に対する考えは。②健康推進事業の課題は。③官民一体で取組の推進を。④街かどケアカフェの拡充を。

◆危機管理

①放送訓練等の機会に周知。②スターターキットを活用した訓練を働きかけ。

◆地域医療
③訓練を実施し効果を確認。今後、拡大。④感染状況を見極め再開。

◆DXの推進について

問 ①SNSを活用した戦略的広報を。②(仮称)取組強化プランにDX推進を位置付けた趣旨は。③区民が使いやすいDXの推進を。④区民協働、民間との連携の強化を。

◆区長
①広く情報が社会全体に伝わっていく、情報が自走する広報戦略へ転換。

◆教育と子どもの権利

問 子どもの権利を根本に据えた新しい学校づくりを。

◆教育振興
総合的、横断的な学習を通して自己の生き方を考える資質や能力を育んでいる。

◆子育て支援と宗教二世支援

問 ①母子手帳配付時等の広告には慎重に。②育児関連商品による事故の注意喚起を。③事故防止の観点でも保育現場の人員体制強化を。④旧統一教会問題、宗教二世支援を。

◆子ども

①広告で早期教育を煽られたとの意見は寄せられていない。②事故防止のポイントをまとめたポスター配布等。③国基準より保育士等を加配。④国の動向を踏まえ必要に応じ支援。

◆牛乳とオーガニック給食

問 ①牛乳停止手続の簡素化を。②ストローレス牛乳の導入を。③有機給食の実現を。

②さらなる区民の利便性向上と業務の効率化が目的。③利用者目線の視点を盛り込む。④様々な分野で連携を強化。

◆健康寿命の延伸策について
問 ①取組に対する考えは。②健康推進事業の課題は。③官民一体で取組の推進を。④街かどケアカフェの拡充を。

◆若者の貧困対策について
問 ①正規雇用として就職できなかつた若者たちの現状は。②都、NPO法人との連携の

関東大震災から100年、防災対策の総点検を！

練馬区議会公明党 宮崎 はるお

副区長

①地域と協働し区民の取組を応援。健康 ②参加者等を増やすためにさらに周知が必要。③製薬会社と協定を締結し、セミナー開催等。④来年、常設型を1箇所増設等。

◆高齢者支援について
問 ①一人暮らし高齢者への支援の必要性の認識は。②終活に関する相談窓口の設置を。

◆公園について

給食は国産小麦に転換を。きでなく、まちの未来を話し合い住民が決める場づくりを。

◆教育振興

①学校生活を安心して送れるようにするため診断書の提出をお願いしている。②都やメーカーにプラスチックストロー廃止を働きかける。③価格等から困難。

◆主権者教育とアドボカシー

問 ①議員を呼んでの討論会

◆美術館問題

美術館は81億円もの建築費、年間経費は億単位で増加が予測できる。リノベーションで経費を抑えてアーティスト支援の充実を。

一人ひとりが認められ、ともにくらせる区に

インクルーシブな練馬をめざす会 高口 ようこ

等リアルな取組を。②子どもアドボケイトの仕組み構築を。③全政党の議員を招く必要がある。④国の動向を踏まえ必要に応じ支援。

◆まちづくり、公園、道路

問 ①公園という場で地域住民がつながるためにコーディネートが重要。②計画あり

①利用者の意見を反映し、整備を。②老朽化し交換の際は誰でも遊べる遊具へ整備を。③きれいで快適なトイレに。

◆若者の貧困対策について
問 ①正規雇用として就職できなかつた若者たちの現状は。②都、NPO法人との連携の

◆子どもの安全対策について
問 ①GPS端末等の見守り機器の情報提供を。②学校外の現地での防犯教室の実施を。

◆障がい者施策の充実について
問 ①失語症者の意思疎通支援者講習を区独自で行え。②聴覚障がい者の意思疎通に関する環境の整備を。③区営住宅に障がい者の單身世帯や同性同士の入居を認めるべき。

◆障がい者施策の充実について
問 ①失語症者の意思疎通支援者講習を区独自で行え。②聴覚障がい者の意思疎通に関する環境の整備を。③区営住宅に障がい者の單身世帯や同性同士の入居を認めるべき。

◆障がい者施策の充実について
問 ①失語症者の意思疎通支援者講習を区独自で行え。②聴覚障がい者の意思疎通に関する環境の整備を。③区営住宅に障がい者の單身世帯や同性同士の入居を認めるべき。

◆障がい者施策の充実について
問 ①失語症者の意思疎通支援者講習を区独自で行え。②聴覚障がい者の意思疎通に関する環境の整備を。③区営住宅に障がい者の單身世帯や同性同士の入居を認めるべき。

◆総務

考えはない。公平公正な制度に基づき職員を任用。

◆アニメ業界とインボイス制度

声優、アニメーターもインボイスに反対。アニメ業界の危機。文化の創り手を守れ。

◆産業経済

税務署等と連携し国の動向を注視しながら区内事業者の事業活動を支援。

◆がん患者、家族、遺族支援

①療養に専念でき、仕事を続けられる支援、自分らしいさいごを迎える在宅医療、当事者や家族支援の充実を。

※10 USAT……[English Speaking Achievement Test for Junior High School Students]の略。都教育委員会が、都内公立中学校第3学年生徒を対象に実施する、中学校英語スピーキングテストのこと。

◆暮らし・住まいへの支援

①生活支援臨時給付金の対象拡大を。②恒久的な家賃補助制度の創設を国に求めよ。③生活保護基準を2013年以前に戻すよう国に求めよ。

◆子どもの安全対策について
問 ①GPS端末等の見守り機器の情報提供を。②学校外の現地での防犯教室の実施を。

◆障がい者施策の充実について
問 ①失語症者の意思疎通支援者講習を区独自で行え。②聴覚障がい者の意思疎通に関する環境の整備を。③区営住宅に障がい者の單身世帯や同性同士の入居を認めるべき。

◆障がい者施策の充実について
問 ①失語症者の意思疎通支援者講習を区独自で行え。②聴覚障がい者の意思疎通に関する環境の整備を。③区営住宅に障がい者の單身世帯や同性同士の入居を認めるべき。

◆障がい者施策の充実について
問 ①失語症者の意思疎通支援者講習を区独自で行え。②聴覚障がい者の意思疎通に関する環境の整備を。③区営住宅に障がい者の單身世帯や同性同士の入居を認めるべき。

◆障がい者施策の充実について
問 ①失語症者の意思疎通支援者講習を区独自で行え。②聴覚障がい者の意思疎通に関する環境の整備を。③区営住宅に障がい者の單身世帯や同性同士の入居を認めるべき。

◆区財政について

①国は先行きに不安を抱える現状を、国債に依存して耐えるしかないが、将来に禍根を残すことが予測される。

◆区長

①財源の裏付けのない歳出拡大が続くことに強い危機の念。施策の優先順位見極め、基金等を可能な限り活用、持続可能な財政運営の堅持に取り組み。

◆在宅医療について

①小集団での学習が可能となり支援充実。利便性向上。さらなる活用を検討。②当事者と学校との間の認識

◆在宅医療の充実を!!

練馬区議会自由民主党 田中 ひでかつ

整備等様々な事業に取り組んできた。さらに前に進めるため、全力を尽くしたい。

◆地域医療問題について
問 ①さらなる病床増を次期ビジョンに位置付け、取り組め。②練馬光が丘病院と順天堂練馬病院の差額ベッド割合を3割とするよう両法人に求めよ。③練馬光が丘病院をさらに拡充し、3次救急医療も

◆給食費無償化等
寄せられた願い実現に全力！

日本共産党練馬区議団 小松 あゆみ

◆個人情報保護条例について
問 ①改定案に現行条例の基本理念等を存置せよ。②保護審議会に議員を含め、調査、審議等ができるようにせよ。

◆給食費無償化とESAT
問 ①国へ給食費無償化を求

◆給食費無償化とESAT
問 ①国へ給食費無償化を求

◆不登校対策について

①民間活力導入の取組の評価と今後の拡大は。②区独自の調査により、新たに増えてきた実態や課題は。この結果を不登校対策にどのように

◆中高生の支援について

①非行による一時保護の状況は。②自殺や非行に走る児童生徒は、居場所や相談先

◆障害者の就労支援について

①どのような取組を行ってきたのか。また、現在、区内で障害者雇用している企業は何か。②障害者が働きやすい環境を構築していくことがこれまで以上に必要では

◆教育長

①小集団での学習が可能となり支援充実。利便性向上。さらなる活用を検討。②当事者と学校との間の認識

ける考えはない。

◆地域医療問題について
問 ①さらなる病床増を次期ビジョンに位置付け、取り組め。②練馬光が丘病院と順天堂練馬病院の差額ベッド割合を3割とするよう両法人に求めよ。③練馬光が丘病院をさらに拡充し、3次救急医療も

◆給食費無償化等
寄せられた願い実現に全力！

日本共産党練馬区議団 小松 あゆみ

◆個人情報保護条例について
問 ①改定案に現行条例の基本理念等を存置せよ。②保護審議会に議員を含め、調査、審議等ができるようにせよ。

◆給食費無償化とESAT
問 ①国へ給食費無償化を求

◆給食費無償化とESAT
問 ①国へ給食費無償化を求

◆不登校対策について

①民間活力導入の取組の評価と今後の拡大は。②区独自の調査により、新たに増えてきた実態や課題は。この結果を不登校対策にどのように

◆中高生の支援について

①非行による一時保護の状況は。②自殺や非行に走る児童生徒は、居場所や相談先

◆障害者の就労支援について

①どのような取組を行ってきたのか。また、現在、区内で障害者雇用している企業は何か。②障害者が働きやすい環境を構築していくことがこれまで以上に必要では

◆教育長

①小集団での学習が可能となり支援充実。利便性向上。さらなる活用を検討。②当事者と学校との間の認識

め実現まで区独自で行え。②保護者同意のないESATJの申込み実態調査を。③ESATJ中止と都立高校入試での活用中止を都に求めよ。

◆教育振興
①考えはない。②現段階で問合せはない。調査の予定はない。③考えはない。

◆旧統一協会への区の対応
問 ①反社会的カルト団体としての認識は。②被害者支援団体と連携し、被害実態の調査、救済活動、区民への注意・啓発を。団体への運営支援を。③区や区教育委員会との関わりを調査、公表し、公共施設を使用させるな。

◆給食費無償化とESAT
問 ①国へ給食費無償化を求

◆給食費無償化とESAT
問 ①国へ給食費無償化を求

◆給食費無償化とESAT
問 ①国へ給食費無償化を求

◆給食費無償化とESAT
問 ①国へ給食費無償化を求

◆教育長

①3年度一時保護全体に占める非行の割合は3割弱。②リーフレット等のほか、アクセスしやすいコンテンツで対応等。児童館等でも子ども自身に考えを聞き、効果的な周知に取り組む。③年間約4万人。④区内の全ての高校に紹介。今年高校1校で「出前中高生カフェ」開始。⑤検討。

◆障害者の就労支援について

①どのような取組を行ってきたのか。また、現在、区内で障害者雇用している企業は何か。②障害者が働きやすい環境を構築していくことがこれまで以上に必要では

◆教育長

①小集団での学習が可能となり支援充実。利便性向上。さらなる活用を検討。②当事者と学校との間の認識

◆在宅医療の充実を!!

練馬区議会自由民主党 田中 ひでかつ

◆区長の基本姿勢について

問 ①先行き不透明な財政状況をどう注視し、自治体への影響と対策をどう考えるか。
②3年間のコロナ関連予算総額と分野別の金額は。区民へ説明を。③再任用職員が管理職に就いている。人材の育成等が重要。考えは。④会計年度任用職員の処遇を改善し人材確保に努めるべき。

区長 ①今後さらなる物価上昇が懸念。支援は真に必要とする所へ集中的に行うべき。

企画 ②総額約1千256億円。感染拡大の防止と医療提供体制の充実に185億円、区民・事業者の支援に1千39億円等。

一定の段階で、区民へ説明。
人事戦略 ③管理監督者の確保と育成を強化。④期末手当等処遇を改善している。有為な人材の確保に努める。

◆高齢者支援について

問 ①高齢者の医療や介護等の見直しの議論が加速。負担増は生活環境の低下を招く。区として支援は。②コロナ禍で心身機能が低下等。対策は。
副区長 ①様々な課題に的確に対応する施策を検討する。
高齢施策 ②介護予防事業への参加等呼びかける。

子ども・高齢者・介護事業者の支援は重要！

練馬区議会立憲民主党

白石 けい子

◆介護保険事業計画と介護サービス事業者支援について

問 ①事業者も物価高騰や制度改正により運営に苦慮。支援は。②第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の執行状況は。③地域包括支援センターと事業者の連携が図れるよう支援体制の構築を。

高齢施策 ①マネジメント力

◆DX推進について

問 (仮称)取組強化プランのDXの策定目的と取組は。

副区長 さらなる区民の利便性向上と、業務の効率化に職員が一丸となって取り組む。

企画 スマホ等から手続ができるよう、オンライン化推進

◆マイナカードの活用について

問 ①交付状況は。②住民票等の手続に、スマホの電子証明機能導入を。③チャットボット導入を。④デジタル地域通貨の導入を。

企画 ①10月末時点で交付率は54・5%。②検討。④先行自治体の動向を注視し研究

◆学校施策について

問 ①学校遊具の安全性向上を。②遊具の使い方を伝えるべき。③物価高騰を受けて給食の質の確保の取組は。④プラスチックストローの廃止を。⑤地産地消等SDGsの

の向上を含めた支援策充実を検討。②要介護認定者数や給付費はほぼ計画値どおり増加。③関係機関と連携に取り組み。
◆教育・子ども支援について
副区長 ①英語スピーキングテストの不受験者への配慮は。②結果を都立高校入試に使用しないよう都に求めるべき。③

ICT教育の進捗状況は。④ヤングケアラーに、プッシュ型支援体制の構築を。

教育振興 ①都教育委員会は、試験を受けられないよう取り扱う旨説明。②求める考えはない。③タブレットパソコンを生徒一人一台配備完了。昨年

から本格活用。デジタル教科

◆取組を教育に生かすよう要望

教育長 ①安全性確保に努める。②各校で学校安全計画定め指導。③食料費を補助し多彩な給食の提供に努めている。④都やメーカーに働きかける。⑤取組意義を伝え教育を推進。

◆環境施策について

問 ①既築住宅等への再エネ

誰もが住みやすい魅力ある練馬区を！

練馬区議会自由民主党

たかはし 慎吾

導入・省エネ化の支援を。②脱炭素社会実現への取組の周知の工夫を。③事業を効果的に進める体制を整えるべき。

◆環境

①補助拡充を検討。②サービスを選択・検討できるように情報の発信を工夫。③策定中の練馬区環境基本計画で区民等と協働の体制を検討。

◆商工観光施策について

企画 ①様々な機会を捉え働

書導入を見据え必要な方策検討等。④地域の関係者等に発見や支援の協力を働きかけ等。

◆都市農業について

問 世界都市農業サミット開催区として、これからの都市農業先導を。所見は。

都市農業 先頭に立ち日本の都市農業をさらに前に進める。

◆防災対策について

問 ①男女共同参画の視点で小冊子の作成・発行を。②練馬区獣医師会と連携し、災害時に飼い主のいないペットや地域動物の保護が可能となる動物救護センターの設置を。

危機管理 ①女性防災リーダー育成講座のポイント等をまとめた冊子の発行等。

健康 ②区内都立公園に動物救護センターを開設し、都に協力。

一般質問(要旨)

きかけ等。②都、鉄道事業者と連携し整備。③来年12月に工事完了予定。④引き続き、河川管理者と協議。

◆放射36号線沿道のまちづくりについて

問 ①放射35・36号線進捗状況は。②羽沢・桜台地区計画は。③氷川台駅まちづくりは。

技監 ①放射35号線は協議・調整のため工事が遅延。放射36号線は石神井川橋梁工事を先行等。②今年度中に素案作成等。③検討会設置を準備等。

◆男性用トイレへのサンタリボックス設置について

問 ①区内施設の設置状況は。

②さらなる設置と周知を。

福祉 ①約6割の施設に設置。

②順次設置。練馬区バリアフリーマップに掲載予定等。

◆区長の基本姿勢について

問 ①DXは全庁に影響を及ぼすため、推進体制が重要と考える。現状は。②区職員の働き方も転換期にある。今後の人事・人材育成についての所見は。

企画 ①区長のリーダーシップのもとIT推進本部を設置し全庁的・組織横断的に取り組んでいる。②職員

の能力を最大限生かすことと民間経験者等の外部人材採用を強化することを車の両輪として人材確保と育成を強化

経済政策と事業者支援 ①物価高騰に対する融資制度の受付が3月までだが、それ以降の計画は。②事業者を後押しする施策を。③スタ

ジオツアー東京の開園に合わせ、戦略的に映像文化の担い手を育成する取組を。

◆子ども家庭政策について

産経経済 ①物価等の状況や国・都の動向等を踏まえ検討。中学校卒業後から青年期、成人後まで、切れ目ない声かけと支援の強化を。②社会変化を受け幼稚園、保育所、認定こども園も変化に向けた取組等が必須。各施設の連絡体制

せ、戦略的に映像文化の担い手を育成する取組を。

◆子ども家庭政策について

産経経済 ①物価等の状況や国・都の動向等を踏まえ検討。中学校卒業後から青年期、成人後まで、切れ目ない声かけと支援の強化を。②社会変化を受け幼稚園、保育所、認定こども園も変化に向けた取組等が必須。各施設の連絡体制

変化の時代を支える
明るい街づくりを

ふくし蒼風会

野沢 なな

◆高齢化社会に沿う街づくり

問 高齢化社会に対応するためには区民の意識改革による協力型福祉社会の形成が必要。区民の主体的な地域活動を後押しするため区民の声を反映し、次期地域福祉計画策定を。

福祉 ①関係機関で構成する発達支援連携実務者会議を開催。引き続き、連携し支援体制を充実。
教育振興 ②幼保小連携研修等を実施し、交流。

る子どもで18歳以降もケアが必要な方への対応は。
区長 ①区の地域に根差した支援と都の広域的・専門的支援の組み合わせがベスト。都区連携の相談体制がさらに強化。一時保護等の法的対応も迅速に。
こども ②福祉事務所等と連携し家庭等の状況に応じ福祉サービスにつなぐ等。
◆教育について
問 ①不登校実態調査・分析を評価。見守り体制の整備と追跡調査による支援の充実を。②デジタル教材の充実を。学びの場を1か所に集約した未来技術資料館の創設等、未来技術を楽しめる環境の整備を。
教育振興 ①中学校卒業後も支援が必要な子どもには関係部署が連携し支援。現時点で追加調査の考えはない。②デジタル教材の使用方法等検証の上きめ細かな教育を推進

特別委員会の行政視察

練馬区議会では、今後の行政施策の参考とするため、視察を行いました。

委員会名		
視察日	視察先	視察目的
総合・災害対策等特別委員会		
11月14日～15日	新潟県 糸魚川市	糸魚川市駅北大火からの復興と今後の取組について
	長野県	長野県立美術館について
医療・病院整備等特別委員会		
11月8日～9日	愛知県 春日井市	春日井市民病院について
	愛知県 一宮市	一宮市立市民病院について
都市農業・みどり環境等特別委員会		
11月10日～11日	兵庫県 神戸市	食都神戸の推進について
	兵庫県	PPAモデルによる県施設等への太陽光発電設備の導入について
交通対策等特別委員会		
11月10日～11日	兵庫県 姫路市	デマンド型乗合タクシー運行事業について
		連続立体交差事業・姫路駅北駅前広場事業について